

研究課題名	静岡県における助産師教育に関するニーズ調査 —施設管理者、就労助産師、助産師を志す者それぞれの立場から—																												
研究責任者	浜松医科大学 医学部看護学科 臨床看護学講座・助産学専攻科 教授 安田 孝子																												
研究機関名	浜松医科大学 医学部看護学科 臨床看護学講座・助産学専攻科																												
研究目的と意義	平成 25 年 7 月に実施した助産師教育に関する調査に協力した静岡県内の施設管理者、就労助産師、助産師を目指す者のデータを活用し、助産師教育の将来展望を考察し、学会発表等により公表する。																												
研究期間	西暦 2015 年 3 月 (医の倫理委員会承認後) ~ 2016 年 3 月																												
研究方法	<p>●対象となる調査協力者： 平成 25 年 7 月に質問紙調査に回答した静岡県内の施設管理者、就労助産師、助産師を志す者</p> <p>●研究に使用する試料：質問紙への回答 606 人</p> <p>1. 質問紙</p> <table border="0"> <tr><td>1) 看護管理者</td><td>A4 用紙 4 枚</td></tr> <tr><td>2) 師長</td><td>A4 用紙 4 枚</td></tr> <tr><td>3) 助産院長</td><td>A4 用紙 3 枚</td></tr> <tr><td>4) 助産師</td><td>A4 用紙 3 枚</td></tr> <tr><td>5) 看護師</td><td>A4 用紙 2 枚</td></tr> <tr><td>6) 専攻科修了生</td><td>A4 用紙 3 枚</td></tr> <tr><td>7) 学生</td><td>A4 用紙 3 枚</td></tr> </table> <p>2. 人数</p> <table border="0"> <tr><td>1) 看護管理者</td><td>28 人</td></tr> <tr><td>2) 師長</td><td>15 人</td></tr> <tr><td>3) 助産院長</td><td>13 人</td></tr> <tr><td>4) 助産師</td><td>82 人</td></tr> <tr><td>5) 看護師</td><td>73 人</td></tr> <tr><td>6) 専攻科修了生</td><td>30 人</td></tr> <tr><td>7) 学生</td><td>365 人</td></tr> </table>	1) 看護管理者	A4 用紙 4 枚	2) 師長	A4 用紙 4 枚	3) 助産院長	A4 用紙 3 枚	4) 助産師	A4 用紙 3 枚	5) 看護師	A4 用紙 2 枚	6) 専攻科修了生	A4 用紙 3 枚	7) 学生	A4 用紙 3 枚	1) 看護管理者	28 人	2) 師長	15 人	3) 助産院長	13 人	4) 助産師	82 人	5) 看護師	73 人	6) 専攻科修了生	30 人	7) 学生	365 人
1) 看護管理者	A4 用紙 4 枚																												
2) 師長	A4 用紙 4 枚																												
3) 助産院長	A4 用紙 3 枚																												
4) 助産師	A4 用紙 3 枚																												
5) 看護師	A4 用紙 2 枚																												
6) 専攻科修了生	A4 用紙 3 枚																												
7) 学生	A4 用紙 3 枚																												
1) 看護管理者	28 人																												
2) 師長	15 人																												
3) 助産院長	13 人																												
4) 助産師	82 人																												
5) 看護師	73 人																												
6) 専攻科修了生	30 人																												
7) 学生	365 人																												

	<p>●研究方法</p> <ol style="list-style-type: none">1. 研究デザイン 調査研究2. 調査期間：平成 25 年 7 月 8 日～7 月 19 日。3. 調査方法：無記名自記式質問紙を郵送法または留置法にて配布と回収を実施した。4. 分析対象：看護管理者 56 名、助産師 82 名、看護師 73 名、専攻科修了生 30 名、学生 365 名であった。5. 分析方法：質問票は無記名であり、連結不可能匿名化として集計、分析する。6. 倫理的配慮<ol style="list-style-type: none">1) 倫理審査：データは、浜松医科大学・医の倫理委員会「看護研究に関する倫理審査部会」における承認を得る。2) 個人情報の保護・プライバシーの保持：個人情報の保護とプライバシーの保護に関して最新の注意を払い、協力の得られたデータは研究目的以外には使用しないことを約束する。また、無記名の質問紙のため個人が特定される可能性はほぼないが、データは番号によって表記し、連結不可能匿名化とする。質問紙は鍵のかかる場所に保管し、研究終了後にシュレッダーにかけて処分する。3) 研究成果の公表：研究成果は専門の学会・学会誌等で公表する。
問い合わせ先	<p>〒431-3125 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部看護学科 臨床看護学講座・助産学専攻科 担当者：安田孝子 TEL：053-435-2822 FAX：053-435-2822 E-mail：tyasuda@hama-med.ac.jp</p>